

## 第8回揖斐川町消防操法大会

〈防火・防災を支える消防団員が操法技術を競う〉

5月26日(日)、市場グラウンドで、第8回揖斐川町消防操法大会が開催されました。消防技術の向上を目的としたこの大会へは町内の消防団52チーム(小型ポンプ部34チーム、ポンプ車の部18チーム)が出場しました。動作の正確さやスピードを競う消防操法では、日ごろの訓練やチームワークが試されます。

郡大会への出場権がかかったこの大会、どのチームも白熱した操法を展開しました。

出場隊の皆さん、お疲れ様でした。大会の結果は次のとおりです。

### 《小型ポンプの部》

優勝	北方分団	第3班
準優勝	小島分団	第3班
3位	大深分団	第2班
4位	大和分団	第1班
5位	北方分団	第4班
6位	大和分団	第2班

### 《ポンプ車の部》

優勝	大和分団	第1班
準優勝	怪永分団	第2班
3位	揖斐分団	第2班



▲ポンプ車の部優勝 大和分団 第1班



▲小型ポンプの部優勝 北方分団 第3班

## 岐阜県各界功労者表彰受賞

地域の発展や社会福祉の増進などで長年功績のあった方を表彰する県各界功労者表彰式が5月13日(月)にふれあい福寿会館(岐阜市)で行われ、81人と5団体が表彰を受けました。

揖斐川町からは、市町村行政分野で林幹夫さん(北方)が表彰を受けました。

林さんは、18年以上の長きにわたる議会議員としての功績が認められ、今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。



▲表彰を受けた林幹夫さん

## 谷汲昆虫館で 鉄道模型の運転体験

5月4日(土)と5日(日)の2日間、赤い電車が保存されている谷汲昆虫館で鉄道模型の運転会が開かれました。

この催しは、子どもたちに鉄道や鉄道模型の魅力を感じてほしいと谷汲昆虫館が鉄道模型の愛好家の協力で開いたもので、親子連れなどで賑わいました。

館内に設置された3メートル四方ほどのジオラマには、本物そっくり再現された町並みや自然などがあり、その間を縫うように走る鉄道模型は、大人も見入ってしまうほどです。

この日走らせた鉄道模型は、700系の新幹線などの人気車種や、谷汲を走っていた赤白の名鉄電車、樽見鉄道などもあり、訪れた親子を楽しませていました。



▲真剣な表情で見つめる子どもたち

平成25年度いび地域環境塾

「こんにやくいも植え付け」

5月11日(土)、春日美東の山菜の里いび体験農場で、平成25年度第1回いび地域環境塾「こんにやくいも植え付け」が行われ、揖斐郡内の親子約40人が参加しました。

いび地域環境塾は、環境教育の一環として子どもたちに自然に触れ合う機会を与える取り組みで、年間を通じて様々な体験や講座が開かれています。

この日は、あいにくの雨になりましたが参加者は泥だらけになりながら、種いもを丁寧に植えていました。

参加した子どもたちからは「こんにやくいもを初めて見た」、「収穫までに3年かかることに驚いた。収穫が楽しみ」などの声が聞こえました。また、この日は森の文化博物館を見学して、春日の自然や暮らしについても学びました。

冬にはこんにやく作り体験が行われるそうです。



▲植え付けの様子

2013 揖斐高原花桃フェスタ

5月12日(日)新緑が眩しい揖斐高原月リゾートで、「2013揖斐高原花桃フェスタ」が開かれました。町の花「はなもも」にちなんでつけられたこのイベントには、今年も大勢の人が訪れました。

ステージでは、地元の伝統芸能三倉の太鼓踊りや子どもたちの演奏歌などのほか、ものまね芸人のショーなどもあり、澄み渡った青空の下、来場者はイベントを楽しみました。

また、特産などが味わえるバザーも充実しており、それぞれがお気に入りのお食べ物に舌鼓を打っていました。さらに、会場では来場者にゆで卵と地獄うどんが無料で振る舞われテントの前には人気の行列ができていました。



▲青空と新緑が眩しい揖斐高原

第46回日本女子ソフトボール 1部リーグ第2節岐阜いび川大会

5月12日(日)と13日(月)に「第46回日本女子ソフトボール1部リーグ第2節岐阜いび川大会」が揖斐川健康広場ビッグランドで開催されました。

日本ソフトボール1部のデンソーや日立マクセルなど4チームが2日間わたって熱戦を繰り広げました。

また、12日の試合終了後には、デンソーの選手による技術講習会が行われ、町内外から集まった小中学生約120人が参加。バッテリーと守備のグループに分かれて、実業団の優れた技術を学びました。このいび川大会で2勝をしたデンソーは、リーグ成績2位でトップのトヨタ自動車と優勝争いをしています。

※第4節現在



▲守備の指導を受ける参加者

揖斐川町大特産市開催 名古屋で「いび」をPR

5月13日(月)、名古屋市金山総合駅で、「揖斐川町大特産市」が開催されました。

揖斐川町大特産市は、町の特産のお茶や野菜などを都市に住む人たちに知ってもらおうと毎年2回、金山総合駅で開かれています。

この日は、町内の農業団体など11店が出店し、揖斐川町の特産品を買い求める来場者で賑わいました。

また、観光PRコーナーも設けられ、揖斐川町の魅力ある観光資源を紹介しました。

会場には1日で約1700人が訪れ、来場者は、「毎年楽しみにしています」「欲しいものがいっぱいあります」と買い物を楽しんでいました。



▲大勢の買い物客で賑わいました

第6回  
ふれあいあまご釣り祭

5月19日(日)、市場の粕川オートキャンプ場周辺で、揖斐川中部漁業協同組合主催の「あまご釣り祭」が開催されました。

この釣り大会は、川への愛着や自然保護への理解を深めることを目的として開かれており、毎年町内外から釣りの愛好者や親子連れなどが大勢訪れています。

朝9時のスタートから、参加者らは川にイクラなどを餌にした釣り糸をたらし、20センチほどのあまごを次々と釣り上げました。

愛知県から参加した親子連れは「かかった時の感触がたまらない」と話し川魚特有のひきを楽しんでいました。また、この日は、子ども向けのつかみ捕りもあり、人気を集めていました。



▲大きなあまごを釣り上げた兄弟

いびがわ健康福祉フェア2013

5月19日(日)、揖斐川町中央公民館で、「たすけあい みんなの笑顔 地域のきずな」をテーマに「いびがわ健康福祉フェア」が開催されました。

人の健康にちなんだこのイベントでは、健康福祉団体の活動紹介や子どもたちの作品展示、健康相談コーナーなども設けられ健康づくりや福祉への関心を深めました。

体験コーナーやスタンプラリーでは、自ら介護用品に触れ、高齢者や障がい者の苦勞を学びました。

また、屋外のテントでは、バザーや子どもたちに人気のわたがしの無料配布などもあり、来場者を楽しませていました。



▲合唱♪で声を出して健康づくり

たにぐみの園児が鮎あゆを放流  
〜早く大きくなってね〜

5月22日(水)、たにぐみ幼稚園の園児が根尾川に鮎を放流しました。

これは、根尾川の環境保全などに取り組む根尾川筋漁業組合が、子どもたちに川の楽しさや危なさを知ってもらおうと企画したもので、この日は、たにぐみ幼稚園の園児48人が参加しました。

園児らは「かわいい」「怖い」「すべすべで気持ちがいい」などと言いつつながらバケツに入った鮎の稚魚を一斉に川に放しました。

放流の後には、園児らに鮎雑炊が振る舞われ、川の味覚を楽しみました。

また、組合では、この日のほかに子どもたちを招いて鮎の放流を行っており5日間で15000匹を放っています。



▲鮎放流の様子

春日小学校全校児童田植え体験  
〜春日美東の貝原棚田〜

5月23日(木)、県の「ぎふの棚田21選」に認定されている春日美東の貝原棚田で、春日小学校36名の児童が田植え体験をしました。

300年前から受け継がれてきた貝原棚田は、等高線に合わせて細かく作られた美しい形状が特徴で、168枚(3・5畝)から構成されています。

児童が田植えをしたのはそのうち4枚(約1畝)の田んぼで、地域の人に教わりながら丁寧に苗を植えました。

子どもたちは、裸足で感じる田んぼの水や泥の感触に「きもちいい」「冷たい」などと言いつつながら田植えを楽しみました。

9月末には、稲刈りが行われる予定です。



▲貝原棚田での田植え体験の様子



▲さつきを鑑賞する親子

5月25日(土)と26日(日)の2日間、花と緑をテーマとした祭典「いび花と緑のまつり2013」が揖斐川町中央公民館で開かれました。

愛好団体でつくる実行委員会が主催したこのイベントには盆栽や山野草、古木などの丹精込めて作られた作品、約400点が展示され来場者の目を楽しませていました。

屋外では寄せ植え教室やバザー、鉢植えなどの販売も行われ多くの人で賑わいました。

また、会場に設置された花と緑の相談コーナーでは、花の手入れのアドバイスなどが行われ、来場者は熱心に耳を傾けていました。

いび花と緑のまつり2013  
花と人の交流



▲ゴミを拾い集める参加者

5月26日(日)、西濃地区11会場(町内6会場)で「2013揖斐川流域クリーン大作戦」が行われ、約3000人が参加しました。

この取り組みは、「きれいな水を次の世代へ」をスローガンに、20団体でつくる西濃環境NPOネットワークや漁業協同組合などの主催で平成12年から行なわれています。

この日は、朝9時の号砲でスタートし、空き缶やペットボトルなどのゴミを拾いました。環境への意識の向上から年々ゴミは減っているものの、それでも家電や建築資材などもあり身勝手なゴミのポイ捨ては後を絶ちません。

この日、町内で拾い集められたゴミは、約2.5トン。清掃活動終了後には、アユの成魚放流や水質検査が行われました。

皆の心掛けできれいな町を守りましょう。

2013 揖斐川流域  
クリーン大作戦



▲感謝状を受けとる矢野晴菜さん

5月29日(水)、交通安全のメッセージの配布や交通安全の街頭指導など春の全国交通安全運動に協力したとして揖斐警察署長から久瀬小学校に感謝状が贈られました。

久瀬小学校は、今年の1月に児童の無事故3000日を達成したこと、から、地元地域にも交通安全を呼びかけようと交通安全活動に積極的に取り組んでいました。

この日は、揖斐警察署の堀部署長が久瀬小学校を訪れ、「今後も皆さんの力を借りたい」と児童会長の矢野晴菜さんに感謝状を手渡しました。

矢野さんは「これからも地域に交通安全を呼び掛けたい」と話しました。

久瀬小学校に  
揖斐警察署から感謝状



▲堀部署長から委嘱状が手渡されました

5月31日(金)、揖斐署の高齢者交通安全指導員の委嘱式と研修会が揖斐川町役場で行なわれました。同指導員は、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで事故防止を呼びかけます。委嘱された皆さんは、次のとおりです。

橋本 満さん(小島)  
高橋 正昭さん(清水)  
竹中 みねさん(三輪)  
長柄 健治さん(谷汲深坂)  
國枝 久夫さん(谷汲岐礼)  
駒月 作弘さん(春日美東)  
藤田 宮子さん(春日六合)  
安藤 鷺美さん(小津)  
村瀬 幸司さん(外津汲)  
中野 郁子さん(西横山)  
山上 一男さん(坂内広瀬)

高齢者交通安全指導員委嘱式  
高齢者の事故防止を

## 水道組合が消火栓の 塗装ボランティア

5月31日(金)、町内の水道業者らで組織する揖斐川町水道組合が、古くなった消火栓の塗装をしました。

この奉仕活動は、消火栓の設置に携わった町の水道業者らが、古くなって塗装が薄くなった消火栓に色を塗って老朽化を防ごうとする取り組みで、今年で4年目です。

この日は、北方や大和地区の消火栓100基の塗装をしました。

町内にはおよそ800基の消火栓があり、今回で400基の補修が完了しました。

この、活動を行っている水道組合の磯川賢二さんは、「美観も良くなり、町民に好評。これからも続けたい」と話しました。

水道組合の皆さん、お疲れ様でした。



▲真っ赤に蘇った消火栓 (北方)

## いびがわハイキングin上ヶ流

〈茶摘み体験〉

6月1日(土)、絶景が広がる春日上ヶ流を巡るハイキングイベント「いびがわハイキングin上ヶ流」が開催されました。

この催しは、お茶の栽培が盛んな春日上ヶ流地域の魅力を多くの人に知ってもらおうと地元の有志者が開催したもので、町内外から200人を超える参加者がありました。

春日中学校をスタートして上ヶ流へと続くコースを巡り、途中に立ち寄った、茶畑では、新茶の茶摘み体験を行いました。

昼食は、上ヶ流地区内で地元の人たちのバザーなどを楽しみ、地区内を散策する人もいました。

また、ゴールのかすがもりもり村では疲れた体を癒そうと薬草風呂を利用する参加者の姿も見られました。



▲茶摘みを楽しむ参加者

## 夜叉ヶ池登山道山開き

〈龍神伝説の池〉

6月2日(日)、福井県との境界にある夜叉ヶ池の山開き安全祈願祭が坂内川上の登山口で行われました。

坂内観光協会主催の式典では、登山客の安全を祈って神事が行われ、田中正敏観光協会長は、「夜叉ヶ池は地域を守る神聖な池。その思いで登ってもらいたい」とあいさつしました。

龍神伝説が残る夜叉ヶ池は、山頂1100mにある池の神秘的な風景や広葉樹の新緑が美しく毎年多くの登山客が訪れます。

残雪が解け山開きとなったこの日も、登山ウェアに身を包んだ登山客100名が山登りを楽しみました。

山頂までは、約3km、1時間半ほどで登ることができると日帰り登山に最適です。夜叉ヶ池登山は降雪のある11月下旬ごろまで楽しむことができます。



▲山頂で昼食を楽しむ登山客

## 久瀬地区青少年育成のつどい

〈青少年の主張〉

6月1日(土)、久瀬中学校体育館で久瀬地区青少年育成のつどいが開催されました。

育成のつどいは青少年の健全育成の一環として毎年開催され、久瀬中学校による合唱発表ののち、青少年の主張では久瀬小中学校の代表者5人がそれぞれの思いを発表しました。自分の身近な体験から感じたことを発表する姿に、参加した地域の皆さんから拍手がおくられ、地域の方々が青少年の意見に触れるいい機会となりました。

また、ボランティア表彰では、昨年度地域のボランティア活動に多く参加された児童生徒らが表彰を受けました。



▲ボランティア表彰の様子